

情産 18-24
平成 18 年 2 月 27 日

企業会計基準委員会
委員長 齊藤 静樹 殿

社団法人 情報サービス産業協会
会長 棚橋 康郎

実務対応報告公開草案第 20 号

「ソフトウェア取引の収益の会計処理に関する実務上の取扱い(案)」に関する意見

標記の公開草案は、わが国における「一般に公正妥当と認められた企業会計の基準(GAAP)」において定められた収益に関する会計処理等の基準が、従来、当業界企業のソフトウェア取引においてはその特質から必ずしも明確ではないという認識をふまえて策定されたものである。

したがって、その策定の目的は、現行の会計基準等をふまえた実務上の取扱いの明確化であって、従来にはない新たな会計処理に関する取り扱いを定めたものではない。

本公開草案は、かかる認識をもとに、現行の実務に沿って取りまとめるべく当協会関係者も交えて検討が重ねられたものであるから、策定された本公開草案の内容は、当然の帰結として、妥当であると考えている。

本公開草案が、ソフトウェア取引の収益の会計処理に関する実務上の取扱いを明らかにしたものであるとして当業界における公正なる会計慣行の確立に資することを願ってやまない。

以上